

受け継ぐ 幸手

たつ お
さかもと 達夫

発行元 さかもと達夫と共に 住所
幸手を元気にする会 幸手市中川崎1-3

電話 080-5496-4555



私たちの幸手を元気に！

(市民に寄り添った行政サービスを)

市民は、幸手市へ税金というかたちで資金を提供し、幸手市から様々なサービスを受け取っています。言い換えれば、市民は行政サービスの買い手であり、幸手市は売り手です。買い手と売り手の間に信頼関係があって、はじめて上手くいくものです。

しかし現実には、市民が意見や相談を窓口を持ち込むと、話を十分に聞いてもらえず、一方的に結論を押し付けられる場合が多々あるようです。

幸手市は市民に行政サービスを提供するわけですから、市民の立場に立ち、市民の意見に耳を傾け、その上で市民に分かりやすく、丁寧に説明すべきです。

特に高齢化の進んでいる幸手市においては、市民に寄り添った行政サービスの提供が求められます。

(計画的な道路行政を)

長倉地区の道路はせまい。クルマとクルマがすれ違うのがやっとの道が多い。その上、交通量の多さには目を見張るものがあります。

このような道路は、歩行者、自転車、クルマにとっても大変危険です。

幹線道路を計画的に整備し、市民が安全に、そして安心して通ることができる道路を確保することが早急に求められます。

(ボランティア活動: 長倉小 スクールガード実施中)



(循環バスの復活を)

多くの市民から「デマンドバスは予約が取れず利用できない」との話をききます。そこで、循環バスとデマンドバスを比較してみます。

循環バスは平成8年1月から運行を開始し、平成28年3月に運行を終了しました。一方デマンドバスは平成27年10月試行運行を開始し、平成28年4月から本格運行となり、現在に至っています。27年度は、循環バスとデマンドバス双方の運行が重なっているため、循環バスは26年度の実績、デマンドバスは28年度の実績で比較します。

循環バスとデマンドバスの比較

| 区 分 | 循環バス | デマンドバス |
|-----------|----------------|----------------|
| 年 度 | 26 年度 | 28 年度 |
| 使用車両 | リフトバス、定員24人、3台 | ワゴン車両、定員10人、2台 |
| 年間の利用者数 | 31,280人 | 11,088人 |
| 年間の事業費 | 17,812,260円 | 16,891,100円 |
| 1人当たりの事業費 | 569円 | 1,523円 |

※ 出典:主要政策成果表

循環バスの利用者は1年で31,280人に対し、デマンドバスは11,088人でした。循環バス利用者は、デマンドバスの約3倍です。これが事実です。

高齢化が進行し、交通弱者が増加する幸手市において、市が運行する公共交通機関は、多くの市民が利用する循環バスとすべきです。

(長倉地区の大きな課題)

長倉地区の大きな課題は水害問題です。大雨が降ると中落し悪水路や大中落し悪水路の水があふれ、周辺に床下、床上浸水などの被害をもたらします。

家の周りに水が迫ると、トイレの水が流れず使用不能になったり、風呂の水も流れません。また、家から外へ出られません。被害に遭った人にきくと、夜、雨が降り続き、水位が上昇してくると、どこまで水が来るのか不安になり、夜も眠れないとのことでした。

一人ではどうすることもできない水害問題、これこそ幸手市があらゆる手段を尽くし、市民の安全、安心を確保しなければなりません。幸手市だけで対応ができなければ、県や国を巻き込み、何としてでも市民の生活を守らなくてはなりません。

さかもと達夫のプロフィール :

昭和28年 幸手生まれ
最終学歴 埼玉大学経済短大卒
前職業 埼玉県職員